

『人口減少社会でも輝く！埼玉研究会』report

第7号 (平成 27 年 10 月 16 日号)

編集・発行：彩の国さいたまづくり広域連合 政策研究担当

第7回研究会を開催しました！

10月16日（金）に第7回研究会を自治人材開発センターで開催しました。今回の研究会では、①牧瀬先生の特別講義、②フィールドワーク訪問先の検討、③（研究会としての）人口増加目標値の検討等を行いました。

フィールドワーク訪問先の検討では、研究員それぞれが考えた訪問先候補を持ち寄り、それを基に各チームで意見交換を行いました。今後、研究を進めていく上で必要となる情報の収集、関係者との意見交換に関する良いアイデアがたくさん出されました。フィールドワークには訪問先との調整が終わり次第、各チームで出かけていきます。訪問先の関係者の方々、お世話になりますどうぞよろしくお願いいたします。

人口増加目標値の検討では、これまでの研究を踏まえながら、研究会として人口増加の目標値をどこに設定するかを話し合いました。埼玉県の人口は現在の約720万人から2040年には約630万人に減少すると推計（社人研）されています。私たち研究会は埼玉県の人口を増加させる事業について研究を行っています。私たちが提案する事業の実施により何人の人口増加を図ることができるか（減少を抑制できるか）を皆で話し合いました。この日は結論にたどり着くことができなかつたため、次回以降の研究会で更に議論を深めていくことになりました。

今回の牧瀬先生「特別講義」！

本研究会では研究会の開催に合わせ、コーディネーターの牧瀬先生による特別講義を実施しています。5回目となる今回は「研究報告書」の執筆にとっても役立つご講義をいただきました。

★★ 特別講義『読まれる文章・報告書の基本的ポイント』★★

これから始まる「研究報告書」の執筆に向けて、読みやすい文章、読んでもらえる文章とはどういったものか、研究報告書執筆にあたって押さえておくべき基本事項などを、幅広く、そして丁寧に教えていただきました。（先生、いつも本当に役立つ講義をありがとうございます！！）

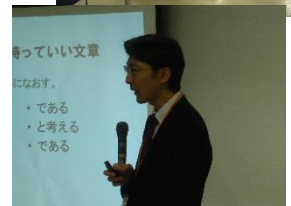
先生の講義を受け、研究員の皆の中で研究報告書のイメージが具体的になってきました。講義終了後には、以前検討した「報告書目次案」に沿って、誰がどの部分の執筆を担当するかなどを決定しました。

研究会では、今後、事業案の検討だけでなく、皆さんに「読んでもらえる報告書づくり」を平行して進めていきます。研究員一同、これまで以上に気合いを入れて研究活動に励んでいきます！

【お知らせ】

今回の「牧瀬先生特別講義」で使用した資料を公開します。資料はこちらから↓↓↓

<http://www.hitozukuri.or.jp//jinzai/seisaku/kyodokenkyu/H27kyodokenkyu/msiryo2.pdf>



次回の研究会は・・・（予定）

次回は各チームで検討中の「主要3事業」の磨き上げと、その他事業のアイデア出し、組み立てを引き続き行っていきます。また、研究会としての人口増加の目標値をどこに設定するかも検討します。また、年内を目途にフィールドワークにも出かける予定です。（それぞれの模様はこのreportで皆さんに報告していきます。）

「政策研究交流会2015」を開催します！

政策研究交流会2015

産民学官で考える埼玉 の人口減少と空き家

私たち研究会が参加するイベントをご紹介します。

「人口減少社会」や「空き家」といった地域社会が直面している課題を解決していくためには、企業、NPO、大学、行政など多様な主体の協働が欠かせません。このイベントでは、講演や発表、参加者同士の交流を通して、地域の課題解決に向けたヒントを生み出し、業種を越えたネットワークづくりを推進することを目指します。どなたでも参加できるイベントとなっていますので、皆さんも私たちと一緒に参加しませんか？

【日程等】

日 時：平成27年11月11日（水） 9：50～16：40（開場 9：30～）

会 場：埼玉県県民健康センター 2階大ホール（さいたま市浦和区仲町3-5-1）

内 容：詳細はチラシを参照してください。

申込み：彩の国さいたま人づくり広域連合 政策研究担当までご連絡ください。（電話：048-664-6685）

※チラシ <http://www.hitozukuri.or.jp/jinzai/seisaku/81sien/03/chirashi.pdf>

研究会の仲間を紹介します♪（第6回）

私たちの研究会は牧瀬先生と、職場も年齢も経験も様々な「個性溢れる」研究員22名で構成されています。このコーナーでは、毎号研究会の仲間たちを紹介していきます。

岸 学（社会増チーム）



所属：狭山市水道施設課
「埼玉県を、また日本をより良い社会へと一歩でも進めることに繋がる研究にしていきたいと考えています。」

岡村 紗矢香（雇用増チーム）



所属：埼玉県共助社会づくり課
「研究員の皆さんと共に政策形成プロセスを楽しく学びたいと思います。そして、良い研究成果も出していきます。」

村上 綾音（雇用増チーム）



所属：埼玉県朝霞県税事務所
「政策形成をより深く理解し、今後の業務に活かしていきたいと思います。人口減少問題についても積極的に勉強していきます。」

今回で牧瀬先生と研究員22人全員の紹介が終了しました。次回からは内容をパワーアップして2周目に突入していく予定です。研究会の素敵な仲間たちをこれからも応援よろしくお祈りします！！

～今号の最後に事務局から～

研究期間の半分が終わり、後半戦に突入して2回目の研究会が終了しました。回数を重ねるごとに研究会、研究員各々の熱量が上がってきているのを間近に感じています。研究会も残すところあと3回です。研究員の思いがしっかり形になるよう事務局としても精一杯後押ししていこうと思います。

今号でお知らせしました「政策研究交流会2015」への来場もお待ちしています。皆で人口減少社会を考え、解決に向けたヒントを得られればと思います。奮ってご参加ください。

◆研究会に関するお問合せは「政策研究担当」まで TEL：048-664-6685 E-mail：jinzai03@hitozukuri.or.jp